

畜産みやぎ

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 木村春雄

定価 1部80円

印刷所 KK東北プリント



第10回ヘルシーセミナー (於:イズミティ-21 '96.1.25)

も く じ

- 平成8年度畜産施策の基本方針と重点施策…… 2
- 畜産試験場における平成8年度の試験研究計画…… 5
- 海外研修に行って…… 6
- 牛ロタウイルス病…… 6
- 人の動き…… 7

平成8年度畜産施策の基本方針と重点施策

宮城県畜産課

1 基本方針

畜産は、平成3年4月の牛肉の輸入自由化や昨年4月からのウルグァイ・ラウンド農業合意の受け入れに伴う乳製品の関税化や畜産物の関税率引き下げが実施され、新たな国際環境に対応した経営の体質強化が求められている。

これらを踏まえ、国においては、21世紀を視野に入れた牛乳・乳製品及び牛肉の安定供給と酪農及び肉用牛生産の健全な発展並びに流通合理化を総合的に推進するため、長期的な観点から「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」を策定するとともに、家畜の改良方針であり長期計画の技術的な指標となる「家畜と鶏の改良目標」を設定した。

このような情勢の中、本県畜産の健全な発展を図っていくためには、生産者の主体的な取り組みと地域の特色や自主性を活かしながら、効率的で生産性の高い畜産経営体の育成、安全で高品質な畜産物の生産、畜産を主体とした地域の活性化を推進することが重要である。また、需給動向に即した畜産物の生産に向け、畜産物流通の合理化や銘柄化等を図ることが不可欠である。

このため、本年度はUR対策の2年目として、地域の動向を的確に捉えつつ地方機関の新たな体制のもと、本県独自の施策を充実強化したウルグァイ・ラウンド関連対策、生産性向上及び経営安定対策を推進するとともに、環境保全型畜産基盤の総合的な整備、豚コレラ撲滅体制整備を新たに組み込んだ家畜保健衛生対策の強化を図り、畜産の体質強化や効率的な生産の展開を支援してゆく。

さらに、「仙台牛」、「宮城野豚（ミヤギノポーク）」などの県内産畜産物の銘柄化と消費・販売対策の推進、肉豚の価格安定対策、畜産物の安全性の確保、生乳流通合理化等各般の施策を「新たな国際化に対応した畜産の展開」をスローガンに次の事項を重点目標として

推進する。

- 1 新たな時代に対応した肉用牛生産の振興
- 2 ゆとりのある先進的酪農経営の振興
- 3 産地間競争に打ち勝つ養豚の振興
- 4 畜産を支える生産・環境基盤の整備
- 5 高度な畜産新技術の開発・普及

2 重点施策

1 新たな時代に対応した肉用牛生産の振興

国際環境の変化や産地間競争の激化等に対応するため、21世紀に向けた先進的肉用牛産地の育成と魅力ある農村づくりを目指し、優れた種牛の効率的な生産体制を整備するほか、肉用牛振興策を総合的に展開するとともに、畜産経営体への技術指導による低コスト生産体制の整備を強化する。また、高級牛肉「仙台牛」の銘柄確立と県内産牛肉の消費拡大対策を展開する。

(1) 肉用牛改良対策

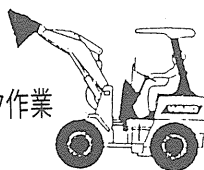
- 肉用牛の能力向上を通じ、商品性の高い「仙台牛」の産地化を一層推進するため、引き続き肉質・増体能力に優れた種雄牛を造成するとともに、優れた種雌牛の効率的生産に取り組む。
- 繁殖雌牛の充実強化を図るため、家畜導入事業等を実施し、経済能力の優れた繁殖雌牛の導入・保留の促進、38和牛改良組合等を中心とした改良増殖対策強化を図る。
- 低コスト肉用牛生産を図るため、受精卵移植技術等の畜産新技術の確立と普及・定着を促進する。

(2) 肉用牛経営安定対策

- 経営体質の強化、肉用牛主産地の活性化等を図るため、“人づくり、里づくり、牛づくり”を柱に、地域の特性を生かした肉用牛振興策を総合的に展開する。

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番(代)

動物用 (牛専用)
医薬品

トルラミックS
特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

- 地域ぐるみの組織活動を通じた低コスト生産の推進を目指し、「地域畜産再編総合対策事業」を実施する。
- 畜産経営感覚に優れた生産性の高い経営体を育成するための支援・指導の施策として「畜産経営技術高度化促進事業」を展開する。
- 飼料基盤の整備、転作田の効率的な利用、経営規模の拡大等による経営の効率化を推進する。

(3) 肉用牛流通対策

- 肉用牛経営の安定と体質強化を図るため、肉用子牛生産者補給金制度や畜産物価格安定制度等への加入促進、各種奨励事業の積極的な利用を推進する。
- 家畜市場の近代化・合理化を推進するため、市場再編整備のための構想策定に対して指導支援してゆく。
- 仙台牛以外の和牛をも含めた県産牛肉の販売戦略を再構築するとともに、「仙台牛」銘柄の全国展開を図るため、県外における消費拡大対策を積極的に推進する。

2 ゆとりのある先進的酪農経営の振興

飼養規模拡大が確実に進み中、飲用需要が伸び悩み、乳製品需要は緩和基調で推移している現状に対応するため、酪農経営の体質強化を目指し、乳用牛改良の推進及び新技術の導入等を実施するとともに、酪農後継者等の円滑な就農のためヘルパー制度の拡大強化支援、生乳生産者の流動化促進を図る。

また、生乳流通・需給調整対策を展開するとともに、県産牛乳・乳製品の消費拡大対策を推進する。

(1) 乳用牛改良対策

- 乳量・乳質の向上等乳用牛の改良による生産性の向上を目指し、牛群検定指導員への情報提供等牛群検定の推進体制を強化するため、「乳用牛群検定普及定着化事業」により、検定情報分析センターの活用を図る。
- 検定指導員を対象とした研修会を開催し、より効率的かつ正確な検定実施体制の整備を図る。

(2) 酪農経営安定対策

- 加工原料乳生産者補給金制度を適正に運用するとともに、肉用子牛生産者補給金制度や各種経営

安定対策奨励事業等の活用を図る。

- 酪農経営の維持・発展のため、担い手対策として就労条件の改善に向けた酪農ヘルパー制度を拡大強化する。

(3) 牛乳・乳製品等流通対策

- 生乳の需給動向を踏まえ、指定生乳生産者団体と連携して生乳の計画生産及び、流通改善を推進する。
- 「宮城のフレッシュ牛乳」をはじめ、県産乳製品の消費拡大のため、飲用牛乳消費拡大対策、おいしい牛乳づくりを推進し、県民食生活の向上のため牛乳・乳製品の栄養・健康等についての知識の普及・啓蒙を図る。
- 県内産牛乳を学校及び幼稚園に安定的に供給するため、「学校給食用牛乳供給事業」を実施する。

3 産地間競争に打ち勝つ養豚の振興

消費者ニーズの変化、豚肉の流通・加工の合理化に対応した本県養豚の体質強化を目指し、系統豚ミヤギノの効率的普及、生産基盤の強化、地域の特色を活かした生産拠点の育成、さらには能力の高い雄型種豚を選抜するための組合せ検定等を実施する。


また、豚肉の価格差補てん制度の充実、系統豚ミヤギノを活用した「宮城野豚(ミヤギノポーク)」の銘柄確立を図るとともに、養豚経営環境の整備、自衛防疫活動の推進を強化する。

(1) 豚改良対策


- 人工授精技術等を活用した生産基盤を強化するほか、雄型種豚を選抜するための組合せ検定等を実施する。
- 系統豚の効率的利用のため、優良系統豚の維持を継続し、系統豚ミヤギノを利用した地域生産組織の拡充強化を図る。


(2) 養豚経営安定対策

- 養豚経営の安定的発展と安価で良質な豚肉を供給するため、先進技術への取り組み、規模拡大や養豚一貫経営の促進、地域ぐるみの養豚経営環境整備など、地域の特色を活かした生産拠点の育成を図る。
- 優良生産者の育成と国内外の産地間競争に対応できる経営体へ誘導するため豚肉の価格差補てん制度の充実を図る。



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷





飼料は まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL 石巻 0225 (22) 6111
FAX 石巻 0225 (22) 6116

本店	山形市蔵王成沢字町浦491-2	TEL 883121
山形店	山形市太白区羽黒台31-14	16 TEL 2494306
仙台店	鶴岡市大字布目字東通り57-1	TEL 240963

(3) 肉豚流通対策

- 食肉の地域流通拠点となる産地食肉処理センターの経営改善を図る一環として施設機械の整備を行い、食肉流通の円滑化と食肉処理施設の衛生的環境の向上を図る。
- 平成5年度から出荷が開始された「宮城野豚(ミヤギノポーク)」の銘柄確立と消費拡大を図るため、広報活動や各種キャンペーン等を実施する。

4 畜産を支える生産・環境基盤の整備

畜産経営の安定的発展のため、飼料基盤の拡充と効率的利用を推進するとともに、混住化の進展等に伴う畜産経営に係る環境問題に対応し、みやぎの快適畜産の推進を図るため、畜産経営の周辺環境の整備や家畜ふん尿処理施設の整備等を総合的に推進するほか、家畜伝染病の発生予防、畜産物の安全性確保等家畜保健衛生対策の強化を支援する。

(1) 飼料生産基盤対策

- 飼料費の低減を図るため、草地の造成・整備の計画的な推進、自給飼料生産の低コスト化や放牧利用等の推進及び畜産主産地の形成を目指し、「畜産基盤再編総合整備事業」を3地区で実施する。
- 効率的な飼料生産のため高性能機械を整備し、飼料作物生産の受託組織の育成を図る。

(2) みやぎの快適畜産総合対策

- 地域住民との調和を図り、環境にやさしい畜産を推進するため、家畜ふん尿処理施設等の整備計画や堆きゅう肥のリサイクル利用等を推進する調査・指導事業を実施する。
- 家畜ふん尿の適正な処理方法を定めるため、県畜産試験場に設置した家畜尿汚水浄化処理施設を利用して実証展示・調査を進める。
- 家畜ふん尿の適切な処理及び利用を推進するため、「畜産経営環境整備事業」等により堆肥舎・尿浄化処理施設等を整備し、環境保全型畜産の推進を図る。
- 畜舎から排泄される家畜ふん尿を広域堆肥センターにおいて効率的に発酵させるため、畜産農家段階で1次調整施設を整備し畜産経営に起因する環境汚染の発生を防止する。

(3) 家畜保健衛生対策

- 家畜疾病による経済的損失を最小限に防止する

ため、家畜伝染病等の発生予防、まん延防止を図る。

- 畜産物の安全性に対する社会的関心の高まりに対応して、動物用医薬品等について、安全性の確保、使用の適正化を推進する。
- 家畜疾病等の突発的発生に対する効果的な防疫体制を確立するため、家畜保健衛生所の施設等の充実と、産業獣医師の確保を図りながら、効率的な診療体制の整備等について調査・検討する。
- 家畜の伝染病予防のため自衛防疫事業を引き続き強化するとともに、養豚経営上最も重大な疾病である豚コレラについて、撲滅のための体制を新たに確立する。

(4) 畜産振興推進対策

- 公共牧場の利用促進のため草地・牧柵等の基盤整備を行うとともに、高度利用のためのふれあい施設を整備し地域畜産振興の拠点及び保養の場の提供を行う。
- 指定助成対象事業や畜産振興補助事業等の国庫補助事業を補完している各種事業の調整指導を行う。
- 地域社会または自然との調和のとれた畜産の里の事例を選定・公表し都市住民に「ふれあいの場」の情報を提供する。
- 養ほう業者の経営安定のための養蜂振興対策を推進する。
- 畜産技術職員の技術向上を図るため、各種研修へ職員の受講を円滑に推進する。

5 高度な畜産新技術の開発・普及

畜産物の国内・外競争力の強化を図るためには、生産性の向上と高品質化が不可欠であり、これらの問題の解決を可能とする受精卵移植技術を積極的に活用した、本格的な生産を図るための技術の開発に取り組むとともに、普及体制を整備する。

(1) 受精卵移植技術の開発・実用化対策

- 受精卵移植技術の育種改良への活用を促進するため、受精卵の確保・活用体制の整備を図るとともに体外受精技術により、F₁雌牛等を利用した黒毛和種の生産・双子生産技術の実用化に取り組むほか、クローン胚作出等の新たな技術の確立を図る。
- 遺伝子レベルで家畜改良を推進するため家畜DNA育種基盤整備事業を実施する。

ビフィズス菌は
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
 活きたまま腸までとどきます。


ビヒダス®
スレーブ
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号
 ☎ (022) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
 仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎22(263)7688



<畜試便り>

畜産試験場における平成8年度の試験研究計画

宮城県畜産試験場

1) 重点方針

畜産は、本県農業の基幹作物として重要な位置を占めているが、産地間競争の激化、ガット・アルグアイラウンド農業合意に伴う農畜産物国際化の進展、畜産環境問題等の多くの問題をかかえており、また、消費者サイドからは、畜産物の安全性を求める志向が年々高まっていることから、収益性の高いより高品質な畜産物の生産を行うことが最も必要とされ、環境にやさしい畜産技術の開発が求められている。

県内5つの農業関係試験研究機関においては、「試験研究構想」(平成7年度～平成17年度)に添って、農業の諸問題について技術的、経営的問題の解決を目指しているところであり、平成8年度に畜産試験場においては、高能力の牛・豚の選抜のための試験、牛肉・豚肉等高品質畜産物の生産技術、牛・豚の受精卵移植やバイテク等による新しい繁殖技術の開発、自給飼料の高位安定生産を図るための技術や環境保全型畜産技術の確立に取り組む。

ア. 酪農肉牛

乳牛については生乳生産性の向上を図るために、高泌乳牛に対する飼養管理技術の研究のほか、牛群検定情報を活用し、生産技術の向上や牛群管理を容易にするための飼養技術などの研究を実施する。

肉牛については、高品質牛肉生産のための最適な肥育の飼養条件を検討するための試験や従来行ってきた種雄牛の遺伝的産肉能力の評価に加え、繁殖雌牛の総合的な育種価推定のシステムを構築するための研究、公共牧場等大規模草地の有効活用と子牛生産・育成のコスト低減並びに省力的な繁殖牛の飼養管理を確立するための研究を実施する。

受精卵関係については、正常受精卵を安定的に生産するための関連技術の開発と併せ、体外受精性判別、核移植など応用技術の一層の成績向上に努めるとともに新たにDNA多型マーカーと経済形質との連鎖解析による優良遺伝子を保有する牛の選抜手法

に関する研究を実施する。

イ. 種豚家さん

系統豚“ミヤギノ”を利用した効率的な肉豚生産を図るため、より能力の高い雄型種豚の選抜を実施すると共に高品質豚肉生産技術の検討、慢性疾病を予防する飼養技術の検討、環境にやさしい豚飼養技術の開発、DNAマーカーを利用した育種法の開発、豚精液の凍結保存技術豚の肢蹄の強健性に関する試験など、系統豚の特性を十分に発揮させるために必要な試験研究を実施する。

ウ. 草地飼料

草地飼料については、自給飼料の低コスト高位生産と高品質粗飼料の安定確保を図るための優良品種の選定、飼料用作物の外来雑草防除技術の確立、環境保全を図りながら草地の生産力を高める簡易低コスト草生回復技術の確立試験を実施する。

環境資源関係については、効率的な家畜ふん尿処理技術の試験研究を実施する。

2) 重点課題

ア. 黒毛和種種牛育種システムの効率化のための研究(継)

イ. 効率的高品質牛肉生産のための飼料給与方式の確立(継)

ウ. 牛体外受精に関する研究(継)

エ. DNAマーカーを指標とした牛の育種手法の開発に関する研究(新)

オ. 雄型種豚の選抜試験(継)

カ. 豚の分離早期離乳(SEW)技術利用の検討(新)

キ. 家畜のDNAマーカーによる選抜技術の開発(新)

ク. DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連解析(新)

ケ. 豚凍結精液実用化試験(継)

コ. 飼料作物・牧草適応品種の選定(継)

サ. 環境保全型草地の簡易低コスト草生回復技術の確立(継)

動物用薬品器材のことなら

タックにご用命下さい。

株式会社 タック

本社 〒980 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号
電話 022-225-7338(代)
仙台(営) 遠田郡小牛田町関根字館野28番
古川(営) 電話 0229-34-2018(代)
福島(営) 〒960 福島市矢矧町22番5号
電話 0245-36-2815(代)
須賀川(営) 〒962 須賀川市卸町3番
電話 0248-76-5177(代)

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス

牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 全農 経済連

<実践大学校生及びOBの抱負>

海外研修に行って

平成8年3月卒業生 阿部 祐子



私達、宮城県農業実践大学校の2年生全員は海外の農業事情を視察研修するために12日間、アメリカで農業と文化や習慣を学んできました。

カリフォルニアの天候は大変過ごしやすく、毎日が晴れでした。農業が盛んであることもうなずけます。しかし、その反面では降雨量が少ないため、とても水を大切にしています。灌漑水事情をサンルイス多目的施設で学びました。一年間の降雨量は250mm~350mmで雨だけでは成り立たないために北カリフォルニアから流れる川の水を利用しているそうです。カリフォルニア州は農業の州と呼ばれるほど大きく人口も多い所です。

ハリス農場は8万頭以上の牛を飼育している牧場です。従業員210名とカウボーイが16人という大きな規模のハリス農場では水を1日400ℓ使用するためカリフォルニア州からパイプで運んでいます。飲み水以外に、スプリンクラーに使用します。そうすることにより、高温を避ける他に、ほこりが立たなくなるため、空気中の殺菌を防ぐことに効果があります。8万頭の中で死亡率は1年間1%未満と低いということでした。

その他にもセスナを使っての種まきや除草剤散布の大規模な水稲栽培また、2,400ha分の野菜を冷やす設備のある野菜保冷出荷会社の視察、それ以外にも花畑やオレンジ農家、ワイン工場など、どれも大きな規模で設備が整っていました。

研修の間、2日間ホームステイがありました。2人のホストファミリーは私達2人を心よく受け入れてくれました。ショッピングやゲームを楽しみました。まるで家族のように接していただき、よい思い出となりました。

アメリカは誰に対しても平等な国でした。街は美しく、誰もが気軽に話し会えるようなそういう国でした。アメリカでの研修は、一生忘れないよい思い出となりました。そして、無事全員が何事もなく帰国できよかったですと思いました。もし次の機会があったらもう一度海外に行きたいと思います。

<衛生便り>

牛ロタウイルス病

仙台家畜保健衛生所

近年、飼養頭数の増加や集団飼育方式の普及に伴い子牛の下痢と肺炎が多発する傾向にあります。特に子牛の下痢は発病率が高く、回復後も発育障害を起こすために重大な衛生問題となっています。

子牛の下痢症の原因は、ウイルス、細菌、寄生虫等の様々な病原体による感染性下痢と、中毒や不良飼料の給与、飼料の変更等を主因とする非感染性下痢があります。また、気候の変化や飼育環境の不備がストレスになり下痢を誘発することもあります。子牛のウイルス性下痢症のなかで最も重要視されているのはロタウイルス病です。ロタウイルスの感染はいずれの年齢の牛にも起こりますが、本病の発生は一般に新生子牛に限り、特に1~2週齢の子牛に多くみられます。子牛が集中して出生する時期に多発し、季節では夏季より冬季に多く発生します。発病牛の初期の糞便中には大量のウイルスが含まれ、ウイルスの排泄は数日間続きます。また、本ウイルスは消毒薬等に対して抵抗性が強いこともあって感染は容易にかつ急速に広がり、一度侵入すると、常在化し発生が繰り返されるのが特徴です。本病の潜伏期は12~36時間で、突然に元気消失、黄色の水様性下痢を呈し、脱水、衰弱します。罹患率は高く、死亡率は0~50%といわれています。本病は、牛コロナウイルス、大腸菌などの混合感染することが多く、症状と予後を悪化させます。

わが国では、本病のワクチンはまだ市販されていないので、一般的な予防対策として、牛舎の清掃と消毒を徹底するとともに、子牛に初乳を十分給与することが重要です。また、対症療法としては、脱水の改善を目的とした補液や、細菌の二次感染を予防するために抗生物質的的確な投与も予後の改善に有効です。

(病性鑑定課 高橋 伸和)

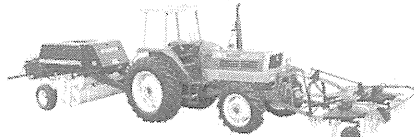
正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL.022(264)8449~50

WORLD ^{カボウ} サンシャイン



株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話 (022) 236-2525 (代表)

人の動き

宮城県

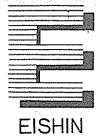
退職(3月31日付)

農政部技監
石巻家畜保健衛生所
畜産試験場
畜産試験場

粕谷 光
後藤 謙
高橋 清志
大場 武

平成8年4月1日付け

新	旧	氏名
農政部技術参事(団体指導担当)	仙台家畜保健衛生所長	加茂 孝夫
農政部畜産課長	迫地域農業改良普及センター所長	佐久間敏彦
農政部畜産課副参事兼課長補佐	監査委員事務局監査第二課長補佐	岡崎 俊雄
農政部畜産課技術補佐(家畜改良・衛生担当)	石巻家畜保健衛生所次長	松本 忠
農政部畜産課上席技術主幹兼家畜改良係長	仙台家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	黒須 敏夫
農政部畜産課上席主幹(庶務担当)	土木部建築宅地課主幹(庶務担当)	阿部 悦郎
農政部畜産課技術主幹兼畜産経営係長	築館家畜保健衛生所技術主幹兼防疫課長	小野寺千一
農政部畜産課畜産流通係長	石巻家畜保健衛生所指導課長	菊田 正信
農政部畜産課主任主査	仙台家畜保健衛生所病性鑑定課長補佐	松田 悦子
農政部畜産課技術主査	畜産試験場研究員	日野 義彦
農政部畜産課	迫土地改良事務所志津川出張所	石川 誠市
農政部畜産課	畜産試験場	鈴木 英作
農政部畜産課	日理地域農業改良普及センター	安達 芳則
農政部畜産課	古川家畜保健衛生所	鈴木 徳彦
大河原家畜保健衛生所長兼大河原農林振興事務所畜産振興部長	古川家畜保健衛生所長	谷津 邦郎
大河原家畜保健衛生所次長	築館家畜保健衛生所次長	佐藤 康徳
大河原家畜保健衛生所防疫課長	畜産試験場種豚家きん部養豚家きん科長兼仙北食肉衛生検査所	渡部 正樹
大河原家畜保健衛生所技術主査	農政部畜産課技術主査	伊藤 敦
大河原家畜保健衛生所	仙南食肉衛生検査所	照井 優一
仙台家畜保健衛生所長兼仙台農林振興事務所副所長兼畜産振興部長	大河原家畜保健衛生所長	佐々木良悦
仙台家畜保健衛生所次長	古川家畜保健衛生所次長	田中 廣
石巻農林振興事務所畜産振興部長兼仙台家畜保健衛生所次長	築館家畜保健衛生所長	大橋 義信
仙台家畜保健衛生所技術副参事	畜産試験場総括研究員	佐藤 武夫
石巻農林振興事務所畜産振興部次長兼仙台家畜保健衛生所	農政部畜産課上席技術主幹兼家畜改良係長	石川 勇志
仙台家畜保健衛生所指導課長兼仙台農林振興事務所農業振興部地域農業振興室企画員	畜産試験場酪農牛肉部乳牛科長	木船 厚恭
石巻農林振興事務所畜産振興部畜産振興課長兼農業振興部地域農業振興室企画員兼仙台家畜保健衛生所	石巻家畜保健衛生所防疫課長	高橋 健
石巻農林振興事務所畜産振興部技術主査兼仙台家畜保健衛生所	石巻家畜保健衛生所技術主査	山田 稲生
石巻農林振興事務所畜産振興部技術主査兼仙台家畜保健衛生所	石巻家畜保健衛生所	吉野 淳良
仙台家畜保健衛生所	仙北食肉衛生検査所	早坂 駿哉
仙台家畜保健衛生所	新採用	内方英里帆
古川家畜保健衛生所長兼古川農林振興事務所畜産振興部長	迫家畜保健衛生所長	大村 信
古川家畜保健衛生所技術副参事兼次長	大河原家畜保健衛生所次長	秀島 理明
古川家畜保健衛生所技術主幹兼防疫課長	大河原家畜保健衛生所技術主幹兼防疫課長	大久 昇悦
古川家畜保健衛生所技術主幹(防疫担当)	迫家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	谷津 直子
古川家畜保健衛生所	農政部畜産課	西川 彰子
古川家畜保健衛生所	迫家畜保健衛生所	柴田 知也
築館農林振興事務所長	農政部畜産課長	佐藤 信嘉



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役会長 山田 修造

取締役社長 竹下 正則

本社 〒980 仙台市青葉区木町通一丁目5-20 ☎022(267)7211

事業本部 〒984 仙台市若林区卸町二丁目10-3 ☎022(284)8111

古川営業所 〒989-61 古川市福浦字道の上137-1 ☎0229(24)1211

畜産の健康と未来に貢献する

獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 064151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1
TEL 0229-26-4567

花巻営業所	横手営業所	酒田営業所	帯広営業所
盛岡営業所	青森営業所	福島営業所	家畜衛生食品
大船渡営業所	八戸営業所	旭川営業所	検査センター
大館営業所	山形営業所	札幌営業所	

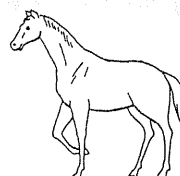
新	旧	氏名
迫家畜保健衛生所長兼迫農林振興事務所畜産振興部長	石巻家畜保健衛生所長	佐藤 新六
築館農林振興事務所畜産振興部長兼迫家畜保健衛生所次長	農政部畜産課技術補佐 (家畜改良・衛生担当)	高橋 勝一
築館農林振興事務所畜産振興部次長兼迫家畜保健衛生所	仙台地域農業改良普及センター上席技術主幹兼地域指導課長	佐々木東助
迫家畜保健衛生所上席技術主幹兼指導課長兼迫農林振興事務所農業振興部地域農業振興室企画員	古川家畜保健衛生所上席技術主幹兼防疫課長	佐々木和夫
築館農林振興事務所畜産振興部技術主幹兼畜産振興課長兼農業振興部地域農業振興室企画員兼迫家畜保健衛生所	農政部畜産課技術主幹兼畜産経営係長	峯岸 こう
迫家畜保健衛生所技術主幹 (畜産振興担当)	築館家畜保健衛生所指導課長	三浦 正行
迫家畜保健衛生所技術主査	農政部畜産課技術主査	大場 実
迫家畜保健衛生所	大河原家畜保健衛生所	田中た まき
築館農林振興事務所畜産振興部兼迫家畜保健衛生所	築館家畜保健衛生所	小川 修平
築館農林振興事務所畜産振興部兼迫家畜保健衛生所	築館家畜保健衛生所	八巻 春美
迫家畜保健衛生所	新採用	佐藤 都邦
畜産試験場酪農肉牛部長兼農業実践大学校畜産試験場次長兼総務課長	仙台家畜保健衛生所技術副参事兼次長	只野 征都
畜産試験場酪農肉牛部乳牛科長	大河原土木事務所次長 (用地担当)	小林 哲也
畜産試験場種豚家きん部養豚家きん科長	古川家畜保健衛生所技術主査	小堤 知行
畜産試験場研究員	畜産試験場研究員	鹿野 裕志
畜産試験場	大河原地域農業改良普及センター技術主査	鈴木 雄
畜産試験場	古川地域農業改良普及センター	鶴田 昇
畜産試験場	小牛田地域農業改良普及センター	半沢 康弘
畜産試験場	築館福祉事務所	島原 弘昭
畜産試験場	農政部畜産課	菊地 武
畜産試験場	新採用	門脇 宏
畜産試験場	新採用	伊藤 裕之
肥飼料検査所兼農政部農業技術課	石巻地域農業改良普及センター	菅原 賢一
農政部畜産課技術主査	肥飼料検査所技術主査兼農政部農業技術課畜産試験場次長兼総務課長	斎藤 益郎
古川農林振興事務所農林総務部副参事兼総務部長	農政部畜産課	桜井 久夫
古川農林振興事務所農業農村整備部	大河原家畜保健衛生所技術主査	小川 勳
迫農林振興事務所農業振興部技術主査	農政部畜産課技術主幹兼畜産流通係長	伊藤 紳
大河原地域農業改良普及センター上席技術主幹兼技術指導課長	畜産試験場	布川 順一
巨理地域農業改良普及センター	築館家畜保健衛生所	中條 満
迫地域農業改良普及センター	畜産試験場	佐藤 秀俊
石巻地域農業改良普及センター技術主査	農政部畜産課	斎藤 弘之
仙北食肉衛生検査所	古川家畜保健衛生所	橋本 和広
仙北食肉衛生検査所	仙台家畜保健衛生所	小野寺瑞穂
土木部住宅課副参事兼課長補佐	農政部畜産課副参事兼課長補佐	遠藤 重次
土木部都市計画課上席主幹兼調整係長	農政部畜産課主幹 (庶務担当)	本宮 哲郎
教育庁文化財保護課主査	畜産試験場	五十嵐孝夫

宮城県経済農業協同組合連合会

平成8年4月1日付け

新	旧	氏名
食肉販売課	築館家畜市場事業所長	安住 英一
生産流通課	大河原家畜市場事業所次長	那須 正晃
家畜市場課	生産流通課	高橋 一雄
家畜市場課	築館家畜市場事業所	伊藤 信行
大河原畜産事業所長	仙台畜産推進事業所長	保科善一郎
大河原畜産事業所次長	大河原家畜市場事業所長	小笠原一郎
大河原畜産事業所	食肉販売課	山家 健蔵
大河原畜産事業所	古川畜産推進事業所	高橋 好博
大河原畜産事業所	小牛田家畜市場事業所	太田 正利


畜産振興の明日を 担う地方競馬



地方競馬全国協会

STAR
スター農業機械

マニュアルフレック



倍角ステアリングで
ラクラク作業

TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクブレーキ)

スター農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

新	旧	氏名
大河原畜産事業所	大河原家畜市場事業所	佐々木 典子
古川畜産事業所長	古川畜産推進事業所長	佐藤 和文
古川畜産事業所次長	古川家畜市場事業所長	齋藤 哲郎
古川畜産事業所	米山畜産推進事業所	佐々木 隆志
古川畜産事業所	古川家畜市場事業所	三浦 光也
古川畜産事業所	古川畜産推進事業所	熱海 伸浩
古川畜産事業所	古川家畜市場事業所	千葉 洋子
小牛田畜産事業所長	小牛田家畜市場事業所長	堀内 政昭
小牛田畜産事業所次長	小牛田家畜市場事業所次長	菅原 勝則
小牛田畜産事業所	古川畜産推進事業所	高橋 修次
小牛田畜産事業所	小牛田家畜市場事業所	の場 俊次
小牛田畜産事業所	大河原家畜市場事業所	横江 進
小牛田畜産事業所	小牛田家畜市場事業所	半田 勝則
小牛田畜産事業所	小牛田家畜市場事業所	桜井 弘幸
小牛田畜産事業所	小牛田家畜市場事業所	佐藤 咲子
小牛田畜産事業所	仙台畜産推進事業所	畑山 和夫
築館畜産事業所長	米山畜産推進事業所長	佐々木 仁一
築館畜産事業所次長	築館家畜市場事業所次長	金田 俊一
築館畜産事業所	仙台畜産推進事業所	熊谷 誠毅
築館畜産事業所	築館家畜市場事業所	内海 聡
築館畜産事業所	ミヤギノG Pセンター	佐藤 潤
築館畜産事業所	家畜市場課	千葉 茂美
佐沼畜産事業所長	佐沼家畜市場事業所長	千葉 勝也
佐沼畜産事業所次長	米山畜産推進事業所	菊地 潔
佐沼畜産事業所	佐沼家畜市場事業所次長	伊藤 禎徳
佐沼畜産事業所	米山畜産推進事業所	後藤 嘉信
佐沼畜産事業所	佐沼家畜市場事業所	上野 新英
佐沼畜産事業所	佐沼家畜市場事業所	佐々木 重善
佐沼畜産事業所	佐沼家畜市場事業所	葛岡 キエ子
ミヤギノG Pセンター	古川家畜市場事業所	菅原 金一
食肉販売課東京販売事務所	仙北食肉販売所	高川 信幸
仙北食肉販売所	仙台食肉事務所	星 敏彦
仙台食肉事務所	食肉販売課東京販売事務所	渡部 良一
総務部付(株)宮城県食肉流通公社出向	生活部長	須藤 虎毅
佐沼支所次長	総務部付(株)宮城県食肉流通公社出向	中鉢 昌次
仙台支所	仙台畜産推進事業所	阿部 司
佐沼支所	古川家畜市場事業所	桜田 正之
石巻支所	築館家畜市場事業所	本間 恵子
米穀流通課	大河原家畜市場事業所	菅原 隆
生活課	築館家畜市場事業所	佐々木 利幸
園芸販売課	大河原家畜市場事業所	山田 祥三
電算運用課	仙台畜産推進事業所	若本 いみ子
東北プロパングスセンター	小牛田家畜市場事業所	小野 寺合子
農機部品センター	生産流通課	本宮 奈緒美

宮城県農業公社
退任 (3月31日付け)

専務理事

佐々木 敦夫
平成8年4月1日付け

新	旧	氏名
専務理事	宮城県より出向	藤田 貞夫
畜産部次長兼畜産振興課長	調査役 (次長待遇) 兼仙南事業所長	菅原 敏夫
基地建設課長	機械管理課長	迫 正紀
基地建設課長補佐	基地建設課主任主査	太田 秀夫
基地建設技師	新採用	日野 隆司
設計第二課課長補佐	基地建設課課長補佐	阿部 覚
調査役 (次長待遇) 兼仙南事業所長	調査役 (次長待遇) 兼畜産振興課長	洞口 幹夫

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収
糞の正常化と悪臭防止など。

35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母



〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
株式会社セイワ東北営業所

TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190

ORION

ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 古川市新田字泉屋敷59-4
☎989-61 TEL (0229)26-4330

新	旧	氏名
調査役(次長待遇)兼仙北事業所長 仙北事業所機械課主任主査 大郷牧場技術主査 大郷牧場技師 白石牧場次長 白石牧場技術主査 白石牧場技術主査 岩出山牧場技術主査 岩出山牧場技師	調査役(次長待遇)兼基地建設課長 白石牧場主任主査 白石牧場技師 岩出山牧場技師 大郷牧場次長 仙北事業所機械課技術主査 岩出山牧場技術主査 大郷牧場技師 白石牧場技師	内海 信一 高橋 久男 庄司 功 伊藤 英昭 松下 一良 氏家 和好 上田 博雅 門脇 秀二 朝倉 利之

宮城県農業共済組合連合会
退職(3月31日付け)

県北家畜診療センター次長兼診療課長

南館 君夫

平成8年4月1日付け

新	旧	氏名
家畜部家畜課事故係長 総務部情報推進室技師 家畜部診療指導課技師 家畜診療研修所長兼庶務課長兼中央家畜診療センター勤務 中央家畜診療センター所長 県北家畜診療センター所長 県北家畜診療センター次長 中央家畜診療センター庶務課副主幹 中央家畜診療センター診療課技術主査 中央家畜診療センター診療課技術主査 県北家畜診療センター診療課技術主査兼損防課勤務 家畜診療研修所指導課技師	家畜診療研修所指導課技師 家畜部家畜課技師 中央家畜診療センター診療課技師 中央家畜診療センター所長 県北家畜診療センター所長 家畜診療研修所長兼庶務課長兼中央家畜診療センター勤務 中央家畜診療センター次長兼庶務課長 家畜部診療指導課副主幹 県南家畜診療センター診療課技術主査 県北家畜診療センター診療課技術主査 中央家畜診療センター診療課技術主査 中央家畜診療センター庶務課技師	後藤 浩弥 宮路 弥 笹谷 雅俊 平間 盛義 大場 英企 氏家 賢一 吉田 重夫 佐野小夜子 石川 則彦 我妻洋太郎 石川 正光 高橋千賀子

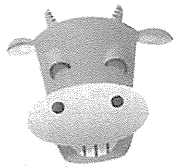
宮城県肉用牛価格安定基金協会
退任(3月31日付け)

専務理事

芳賀 文蔵

平成8年4月1日付け

新	旧	氏名
専務理事	宮城県農政部技監	粕谷 光



毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり
肉となる、たいせつなタンパク源。
ビタミン、ミネラルも豊富な、
たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒980 仙台市青葉区上杉1丁目2-16(社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-262-9180



動物用医薬品

セレン配合
総合ミネラル固型塩

錠塩セレン

日本全薬工業株式会社

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社

東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1

電話 022-259-6351